

《2016年 輝いた人》

キッズルーム「ももいろのきりん」・クレープショップ「サニーズ 諏訪店」
経営 平田 由喜美 さん



■「ももいろのきりん」を立ち上げた理由は？

丸9年移動クレープ屋をしていて、その間に妊娠・出産をしました。移動販売の仕事は土日祝日に集中するので、その間に託児が出来る施設がないことに不便を感じ「他にも同じように困っている人がいるのではないかと考えたのがきっかけでした。自分自身もこのまま働くことや第2子の妊娠・出産も難しいと考えたのも理由の1つです。

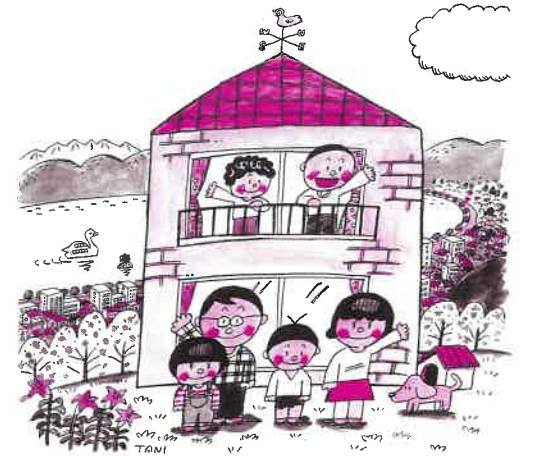


■実際のニーズは？

土日祝日や夕方まで仕事をしてキャリアアップを目指したい人の需要が多いのかと思っていましたが、日中のちょっとした用事の時に預けたというニーズが多かったです。今後はニーズをみながら、24時間年中無休を考えています。

■「ももいろのきりん」の今後の目標は？

経営を始めた事よりも続けていく難しさを感じています。自分も利用者さんも、「ももいろのきりん」を利用することで子育てのストレスがなくなり、楽しくいられたら良いな、楽しい子育てのサポートになれば良いなと思っています。



「市職員 働き方意識調査」結果

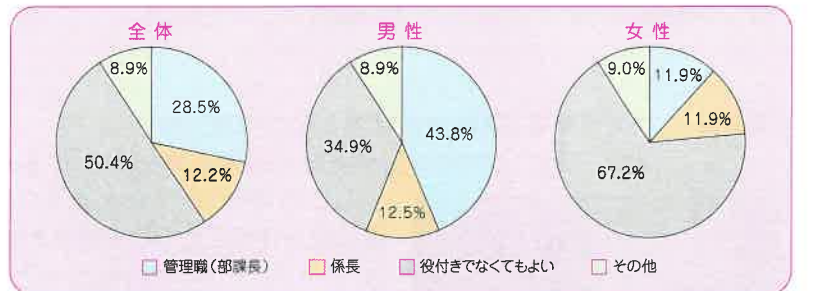
男女共同参画の実現を目指す私たち諏訪市の市民団体「いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA」は昨年11月、市の職員を対象に働き方に関する意識調査を行いました。

調査では、管理職に昇進したいと考える女性職員が男性職員に比べて低く、その背景には仕事と家庭生活の両立に難しさがあることがはっきりと表れました。

調査はアンケート形式で、管理職を含む全正規職員445人に行い、83%に当たる369人から回答がありました。「どこまで昇進したいか」との質問で「管理職」と答えたのは、男性職員が44%だったのに対し、女性職員は12%。「役付きでなくてよい」は男性職員が35%、女性職員が67%でした。この数字は何を意味するのでしょうか。「女性の管理職登用について積極的に進めるべき」と思っている男性職員が約80%と女性職員よりも高く、社会的には女性の社会進出を好意的に受け止めています。しかし、「仕事と家庭生活の両立が困難に感じたことがあるか」という質問で、両立に困難と感じている女性職員が93%で、男性職員は62%と、家事や子育てなどと仕事の両立に不安を感じている女性職員が多いことが分かりました。

自由意見では、働くのは子育てが一段落した時期がいいのではないかと、または、女性に家事と育児をして欲しいなどの男性職員の意見に対して、女性職員は、子育てに対する男性や年長者の考え方が変わっていないのに管理職を目指せと言われても女性の負担が増えるだけ、と意識の違いが明確になりました。また、家庭での負担が減らないのに管理職になり残業が増えると両立は難しいとの意見もありました。

問4. 将来的にどこまで昇進したいと思いますか。既に管理職の方は、どこまで昇進したかったですか。



いきいき市民推進チーム
☆輝くSUWAのメンバーとなって

まずは自己紹介から。姓は近藤と言います。先祖は平家の落ち武者で飯田の出身です。名前は一美です。いつも女性に間違えられ困っておりますが73歳の男性です。

入会のきっかけは、男女共同参画のまちづくりに関心があった事と、少子化対策で婚活運動に取り組んで20年経過して、何か世のため、人のためにお役に立ちたいと思ったからです。

この会は20代から80代まで多様な人生を歩まれた男女の会なので勉強になります。

是非、楽しく面白い会なので、もう少し会員を増加させましょう。

(近藤 一美)

諏訪市
イクボス・温かボス(あったかボス)宣言



理事者・部局長が、地域のけん引役として「イクボス・温かボス宣言」をしました。

私は、職員の子育てや介護等の家庭生活と仕事の両立を応援し、すべての職員が意欲と能力を十分に発揮して活躍できる職場づくりを進めながら、市民に信頼され、期待に応えられる行政を実現し、自らも仕事と私生活を楽しむ「イクボス・温かボス」になることを宣言します。

会員募集!!

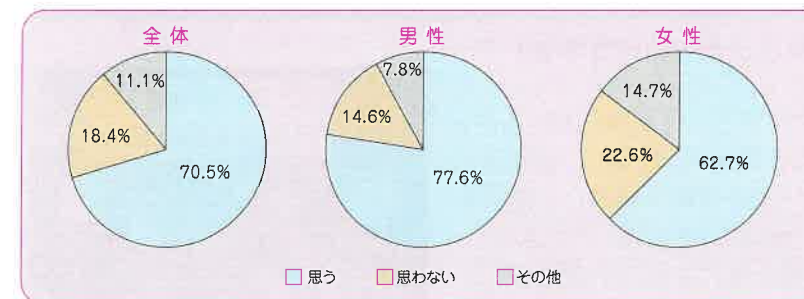
「男女共同参画社会」の推進に向けて一緒に活動しませんか

男女共同参画に関心のある方なら、どなたでも結構です。子育て世代の方も大歓迎。(託児支援制度があります。)一緒に考え、楽しく活動しましょう。

編集後記

念願の市職員への「意識調査アンケート」を実施、一面に結果報告を掲載しました。年明け早々には、理事者・部局長が「イクボス・温か(あったか)ボス宣言(育児・介護をしながら仕事のできる環境づくりの取組み)」をしており、これからの行政の取組みに期待しています。経済停滞、人口減少、少子高齢化により、共働き世帯が増えつつある今日、昨年は「女性活躍推進法」が施行され、今や「働き方」が重要課題です。今年「男女いきいき諏訪プランVI」の策定の年です。「男女共同参画市民協議会」はH28年度より「いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA」と名称を改め、柔軟な更なる活動を進めたいと思います。

問8. 女性職員の管理職登用について積極的に進めるべきだと思いますか。



諏訪市では、女性の市長が市政運営を担っていますが、市議会議員には女性がまだ少なく、女性管理職は管理職全体の5%にすぎません。女性管理職が増え、政策立案に携わるようになることで、男女ともに働きやすい多様性のある働き方の実現が期待できます。民間企業の女性管理職登用もあまり進んでおらず、市役所から新しい風を巻き起こすことが必要ではないでしょうか。

いまいき市民推進チーム☆輝くSUWAの活動

生活サポート講座 第1弾：6月23日・28日 / 第2弾：7月13日 / 第3弾：10月26日・11月11日

今年度は、「ワーク・ライフ・バランス」を主テーマとして3講座を実施しました。

◎第1弾 「信頼関係を築くコミュニケーションについて」

講師：産業カウンセラー 北村けい子さん

人は社会生活(仕事、地域との関わり)や家庭生活をバランスよく保ち、より良い生活を営むために、多くの人々との意思疎通を図り信頼関係を築いていくことが重要なポイントになる。そのためにはコミュニケーションのとり方が大切になることを体験や事例などを通して学びました。



◎第2弾 「育児介護休業法」「社員の子育て応援制度」「諏訪市子育て企業サポート事業奨励金」について

講師：長野労働局 イーキュア(株) 共催：諏訪商工会議所

様々な制度について、わかりやすく説明いただきました。



◎第3弾 「どうする?退職後の社会とのつながり方」

講師：諏訪公共職業安定所統括職業指導官 小林浩人さん

三つのポイント・日本経済の成長・人生八十年時代のキャリアプラン・自分史を作ることについて話されました。人生八十年時代のキャリアプランでは、「人生八十年の時間七十万時間」をどう生きるか?「自分はどんな人生を送りたいか?そのためにどんな能力を習得したいか?と考える」その具体的なゴールを設定することが重要になるという話が、非常に身近なこととして感じられました。



講師：マイケルズ 吉田 浩さん

退職後、キャリアを生かし、どう地域とつながっていったらいいか。地域でのコミュニケーションのとり方やSNSの使い方について、具体的な成功例を挙げながらの内容でした。二年前にオープンした大手マルシェはSNSでつながり、人との出会いをメリットとしてコミュニティの場が出来上がったとの事例から、行動を起こすことの大切さを学びました。



ともに生きる諏訪市民大会

共催：(株)長野日報社 6月11日

◎「ワーク・ライフ・バランス」～仕事と子育て、介護との両立を考えて～

講師：渥美由喜さん

民間シンクタンク勤務でワーク・ライフ・バランスやダイバーシティの研究者として活躍する渥美さんは、育児休業を2回取得し、認知症の実父を介護中です。地元の公園では「子ども会」活動を継続し、座右の銘である『市民の3面性=職業人、家庭人、地域人』を実践しています。

自身の経験から「悩んだ時は最優先事項を考えよう」「介護はプロの支援を受けよう」「自らが周囲に手を差し伸べる心構えを持とう」などと提言。「仕事や育児、介護を協力して乗り越えるプロセスこそ幸せがある」と締めくくり、会場の共感を呼びました。



視察研修

7月26日

◎Social Hub Space FABB (長野市)

清潔感のある建物に、木の温もりを感じさせるオシャレな雰囲気。1Fにキッズスペースを兼ね備えており、子育て中のお母さんにも使いやすく、2Fには、シェアオフィス、ミーティングルーム、個ブースと用途に合わせて使用が可能。長期的な視点でキャリアを考え、働く女性がワーク&ライフのトータルスキルを積みながら、ライフステージの変化があっても自分のキャリアを続けられて、結婚、出産、子育て、老後など様々なライフイベントについても働きやすく、多様な働き方ができる、コワーキングスペースを目指している。



同じ空間で、場所と時間を共有していながらも、自分の活動に集中でき、なおかつ交流もできるスペースでした。また、様々なイベントが開催されており、参加しやすく、人と人がつながれるコミュニティの場にもなっていました。楽しく活躍されている女性の姿も見受けられました。

◎長野市地域女性ネットワーク

「安心して暮らしやすくするために」自分たちの力で切磋琢磨している様子を感じられました。「女性の力を向上していきたい」と前向きな活動姿勢や、おもてなしの心での学びがありました。

岡谷市男女共同参画推進市民の会との懇談会

10月25日

岡谷市男女共同参画推進市民の会との懇談会が諏訪市役所で行われました。

同じ規模の自治体で、共通の悩み(会員の高齢化、イベント等への参加者不足)や今後の課題などを話し合いました。

岡谷市の学校教育における共同参画推進(カルタ作成やポスター募集など)は、諏訪市でも検討すべき課題かな、と思いました。



市内企業視察研修

11月15日 (株)ミスズ工業 / 11月17日 (株)共進・三印(株)

まず、市内の製造業を2社、(株)ミスズ工業と(株)共進を視察させて頂き、若き二代目社長にそれぞれの会社の取り組み等のお話をお聞きしました。前向きに事業を展開をされており、会社の運営方法はもとより、社員の福利厚生面をいろいろと考えられており、働きやすい職場づくりをされている事に好感を持ちました。



3社目は、食品卸・加工販売業の三印(株)を訪問させて頂きました。前社長から引き継いだばかりの若い女性社長にお話を聞くことができました。社の発展と社員が働きやすい職場になるよう努力したいとおっしゃっており、今後、女性の考えを大いに発揮し、今迄とは違う新しい三印(株)として発展されることと思います。

お忙しいにも関わらず、快く視察をお受けいただきました3企業には心よりお礼申し上げます。ますますのご発展をご祈念申し上げます。



その他の主な活動

- ・男女共同参画社会づくりに向けての全国会議 参加 (6月27日 東京国際フォーラム)
 - ・ともに生きる諏訪セミナー 「パースペクティブ」上映会 (平成29年2月25日)
- 会場が満席となりました。感謝申し上げます。